

● 黒っぽい色のチョウ



● ナミアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~10月
- ・ 大きさ：53~60mm
- ・ 食草：ミカン科

ふつうに見られるアゲハチョウ。前ばねのつけ根は黒い線状(せんじょう)。



● キアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~10月
- ・ 大きさ：40~65mm
- ・ 食草：セリ科

平地から山地まで見られる。前ばねのつけ根は黒いぬりつぶし。



● アオスジアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~10月
- ・ 大きさ：45~55mm
- ・ 食草：クスノキ科

高い木の上をす早く飛び、つかまえることがむずかしいチョウ。



● クロアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~10月
- ・ 大きさ：50~70mm
- ・ 食草：ミカン科

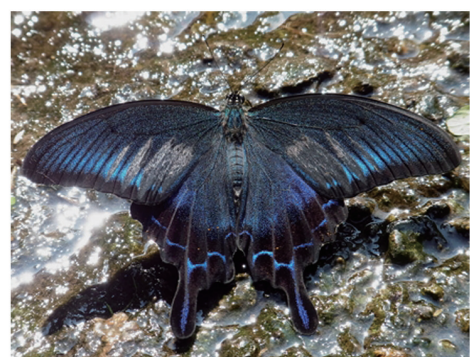
まっ黒のはねを持ちつつじ、クサギ、ヒガンバナなどに来る。



● ジャコウアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~9月
- ・ 大きさ：50~60mm
- ・ 食草：ウマノスズクサ

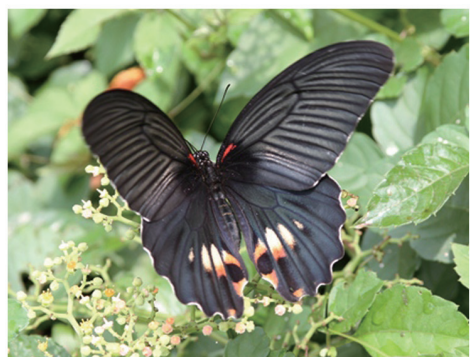
体の赤い色は、どくがあることをき知らせている。オスのはねは真っ黒。



● カラスアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~9月
- ・ 大きさ：45~70mm
- ・ 食草：ミカン科

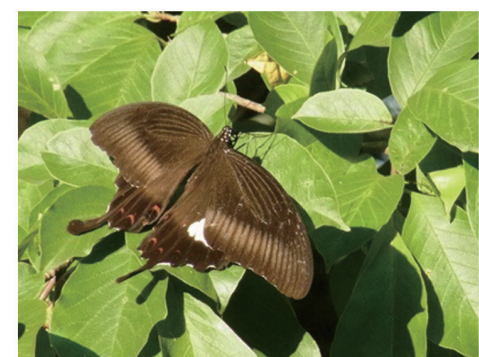
光のかげんで青くかがやくはねが美しいチョウ。



● ナガサキアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 4~10月
- ・ 大きさ：60~70mm
- ・ 食草：ミカン科

他のアゲハのなかまにある、後ばねの突起(とつき)がなく見分けやすい。



● モンキアゲハ (アゲハチョウ科)

- ・ 5~9月
- ・ 大きさ：50~80mm
- ・ 食草：ミカン科

後ろばねの白いもようがとくちょう。関東(かんとう)から南で見られる。

* 大きさは前ばねつけ根からはね先までの長さ。食草はよう虫の食べる草。

● 黒っぽいチョウ



● ルリタテハ (タテハチョウ科)

- ・ 3～11月
- ・ 大きさ：30～40mm
- ・ 食草：ユリ科

せい虫で冬をこす。クヌギやコナラなどの樹液(じゅえき)に集まる。

● ゴマダラチョウ (タテハチョウ科)

- ・ 5～8月
- ・ 大きさ：35～42mm
- ・ 食草：エノキ

グライダーのようにとぶ。エノキのあるむさしのの公園で見られる。

● アカボシゴマダラ

- ・ 5～9月 (タテハチョウ科)
- ・ 大きさ：35～42mm
- ・ 食草：エノキ

人にもちこまれた外来種(がいらいしゅ)。春がたは、赤い点がない。

● 黄色いチョウ



● モンキチョウ (シロチョウ科)

- ・ 2～11月
- ・ 大きさ：25～30mm
- ・ 食草：マメ科

春早くからあらわれる。オスは黄色で、メスは白色と黄色がいる。

○ 白いチョウ



● キタキチョウ (シロチョウ科)

- ・ 3～11月
- ・ 大きさ：20～25mm
- ・ 食草：マメ科

せい虫で冬をこす。黄色いはねに小さな黒い点がある。



○ モンシロチョウ (シロチョウ科)

- ・ 3～11月
- ・ 大きさ：25～30mm
- ・ 食草：アブラナ科

キャベツ畑などで多く見られる。よう虫は青虫。



○ スジグロシロチョウ

- ・ 4～10月 (シロチョウ科)
- ・ 大きさ：25～35mm
- ・ 食草：アブラナ科

モンシロチョウになるが、はねのすじが黒く、林の近くで見られる。



○ ツマキチョウ (シロチョウ科)

- ・ 3～5月
- ・ 大きさ：25mm
- ・ 食草：アブラナ科

さなぎで冬をこし、春早くにあらわれる。オスのはねの先は黄色。